

# よむよむ

## Spring No.6

R2.3.10(火)

### きっかけに注目

「これがきっかけ！ノーベル賞ずかん」

高柳雄一 監修  
(ほるぷ出版) NDC・377



人類のために、もともと大きな貢献をした人に贈られるノーベル賞。受賞者たちの並々ならぬ努力のかけには、どんな「きっかけ」があったのでしょうか？

この本は「きっかけ」をキーワードにノーベル賞の受賞者を紹介しています。

昨年、化学賞を受賞した吉野彰先生が、科学の道を歩むきっかけは小学校の時に読んだ「ロウソクの科学」だったといいます。生理学・医学賞をとったコンラート・ローレンツ博士は、卵から孵ったヒナと目が合ってしまったことが研究のきっかけでした。一方、医者になりたいというお姉さんの夢を聞いて目覚めてしまったのは、かのマリー・キュリー。

その道に興味をもったきっかけ。歩み出したきっかけ。そして素晴らしい成果が生まれたきっかけ... そう、きっかけはどこにおちているかわかりません。きっかけは、さりげない顔をしているかもしれません。それがきっかけになるかどうかは、その人次第。あなたの人生にも「ノーベル賞」につながるきっかけがどこかにひそんでいるのかもしれないよ。



## 魔法を信じてください！

「マジックツリーハウス 46」  
21世紀のフランクリン」  
メアリー・ホープ・オズボーン 1作  
(メディアファクトリー) NDC・933

- アメリカ合衆国の憲法がまとまらず困っているベンジャミン・フランクリンを見て、ジャックとアニーは彼を21世紀のアメリカに招待することを決意する。
- 「フランクリンさん、ひみつ守れますか？」
- 先日マジックハウスツリーシリーズを丹念に読み返していた4年生が「ジャックとアニーって成長してるよね」とほつり。

なるほど、確かめてみると1巻では8歳と7歳だったジャックとアニーは最新刊では12歳と11歳に成長しています。

「シリーズもので主人公の年齢が変わるのが珍しいですね」  
言われてみれば、ホントだね！

この長いシリーズが完結するころには、2人はいったいいくつになっているでしょうか。ちょっと楽しみです。

おひさしぶりの  
トコハのハトコ

たちばな、子のみなさん  
こんにちは！  
トコハのハトコです。  
みなさん、まいにち  
元気にすごしていますか？  
ちなみに、ウチのいもうとは...

「はい、元気です。トコハちゃんも元気です。」

「トコハちゃん、学校が広すぎて、かくれんぼがぜんぜんおわらないのよ。」

「トコハちゃん、学校が広すぎて、かくれんぼがぜんぜんおわらないのよ。」

「トコハちゃん、学校が広すぎて、かくれんぼがぜんぜんおわらないのよ。」

Start →